

第31回フォークリフト

運転競技 栃木県大会

プログラム(案)

開催日時

令和 6年 7月20日(土) 午前9時00分～

会場

陸上貨物運送事業労働災害防止協会
栃木県支部
(一般社団法人 栃木県トラック協会)

主催

陸上貨物運送事業労働災害防止協会
栃木県支部

後援

陸上貨物運送事業労働災害防止協会
一般社団法人 栃木県トラック協会

協力

ロジスネクスト 関信越 株式会社
宇都宮南支店

大会次第

(進 行 予 定)

| | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 集合・受付開始 | 8 : 4 0 |
| 2. 開 会 式 | 9 : 0 0 - 9 : 1 0 |
| ①開 会 | |
| ②主 催 者 挨 拶 | |
| 3. 競技実施上の注意事項説明 | 9 : 1 0 - |
| ☆点検・運転競技方法説明 | |
| 4. 競 技 開 始 | |
| ①学 科 競 技 | 9 : 1 5 - 9 : 5 5 |
| ②点 検 競 技 | 1 0 : 0 5 - |
| ③運 転 競 技 | 1 0 : 0 5 - |
| ☆昼 食 | |
| 4. 閉 会 式 | 1 2 : 3 0 |
| ①成 績 発 表 | |
| ②表 彰 | |
| ③講 評 | |
| ④閉 会 | |

※ 競技進行状況によっては時間の繰り上げ・繰り下げがあります

第 3 1 回

フォークリフト運転競技

栃 木 県 大 会

実 施 要 綱

陸上貨物運送事業労働災害防止協会

栃 木 県 支 部

1. 目 的

フォークリフト運転競技を通じ、遵法精神と安全意識の高揚及び知識・技能の向上を図り、安全作業の確立と実効ある労働災害防止の推進に資することとする。

2. 主 催

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 栃木県支部

3. 後 援

陸上貨物運送事業労働災害防止協会
一般社団法人 栃木県トラック協会

4. 協 力

ロジスネクスト関信越 株式会社 宇都宮南支店

5. 日 時

令和6年7月20日（土） 午前9時00分より

6. 会 場

陸上貨物運送事業労働災害防止協会 栃木県支部
（一般社団法人 栃木県トラック協会）
栃木県宇都宮市八千代1-5-12
TEL 028-658-2515
FAX 028-658-6929

7. 駐 車 場

（一社）栃木県トラック協会 駐車場
（一社）栃木県自動車整備振興会（栃ト協駐車場南側砂利部分）
※当日、係の者がご案内いたします。

8. 出 場 資 格

- （1）当県支部会員事業所の従業員で、勤務成績が優秀であり、かつ、フォークリフト運転技能講習修了後1年以上経過していること。
- （2）フォークリフト又は自動車の運転により、過去1年間事故を起こしたことがないこと。また、過去3年間（フォークリフト運転技能講習修了又は自動車運転免許取得後の期間が3年に満たない者については、当該3年に満たない期間）人身事故を起こしたことがないこと。

9. 参加費

参加費は無料とする。

10. 競技種目及び配点

競技種目は、学科・作業開始前点検・運転競技の3種目とし、配点は学科200点・作業開始前点検100点・運転競技200点の計500点とする。

11. 各競技種目の実施要領

(1) 学科

- イ. 出題数は40問とし、正誤方式○×とする。
- ロ. 制限時間は40分とする。
- ハ. 出題科目並びに科目ごとの問題数及び配点は、次表のとおりとする。

| 科 | 目 | 問題数 | 配点 |
|--------------------|---|-----|-----|
| 関係法令 | | 10 | 50 |
| 走行に関する装置の構造・取り扱い方法 | | 10 | 50 |
| 荷役に関する装置の構造・取り扱い方法 | | 10 | 50 |
| 運転に必要な力学 | | 10 | 50 |
| 合 | 計 | 40 | 200 |

(2) 点検競技

- イ. 使用車種
最大荷重が1.5トン、ガソリン車のカウンターバランス型とする。(三菱FGE15D1・マニュアル車)
- ロ. 競技要領
所要時間は5分とし、フォークリフトの所定の点検箇所を確実に点検したかを採点する。但し、エンジン始動前のみとする。

(3) 運 転 競 技

イ. 使用車種

最大荷重が1.5トン、ガソリン車のカウンターバランス型とする。(三菱FGE15D1・マニュアル車)

ロ. 競技要領

所要時間は5分とし、概ねフォークリフト運転技能講習の実技試験に準じて走行及び積み卸しを実施する。

12. 表 彰

総合得点第1位から第5位までの者には表彰を行う。

※ただし、参加者の人数によって、表彰対象者は変更となります。

13. 全国大会推薦基準

(1) 参加推薦対象者は、第30回フォークリフト運転競技栃木県大会に参加した選手のうちから、次のものを推薦する。

・「一般の部」成績上位者2名

※参加者が15名未満の場合は1名

※2名の者を推薦する場合は同一企業に所属する者でないこととする。

・「女性の部」成績優秀な女性1名

(2) 過去の全国大会での優勝又は準優勝した者は推薦対象から除外する。

14. そ の 他

(1) 参加者全員に参加賞・昼食を支給する。

(2) 出場者は作業着・安全帽・安全靴を着用する。(審査対象)

(3) 出場者は技能講習修了証・雨具・点検ハンマー・筆記用具を各自持参する。(審査対象)

第 3 1 回

フォークリフト運転競技

栃 木 県 大 会

競 技 細 目

陸上貨物運送事業労働災害防止協会

栃 木 県 支 部

1. 学 科 競 技

1. 解答は正誤方式○×とする。
2. 解答方法は下記のように表示する。
 - ・問題が正しい場合 ○
 - ・問題が誤りの場合 ×
3. 競技時間は40分間。開始・終了は係員の指示により行う。
(競技進行上、時間を短縮する場合あり。)
4. 会場内での発言は質問の場合のみとし、許可後発言する。

2. 点 検 競 技

1. 選手は係員の指示により点検競技会場へ移動し、点検車両に正対し、審査員に番号・氏名を告げる。
2. 審査員の合図で開始・終了する。
3. 点検の順序は問わない。
4. 選手は点検結果を○○良し、○○不良等、大声で告げる。
5. 不良箇所の修理・復元はしない。
6. 点検競技終了者は運転競技の準備をする。
7. 点検競技終了者は未終了者と接触はしない。
8. フロントガラス、三方シートの点検は実施しない。

3. 運 転 競 技

1. 採点方法は減点方式とする。
2. 運転方法は、別紙運転操作手順書の通りとする。
3. 選手は採点者に番号・氏名を告げる。
4. 審査員の合図で乗車し、定められたコースを走行・荷役操作を行う。
停止操作後(エンジンは切らない)下車する。
5. 運転競技終了者は未終了者と接触しない。

4. 配 点

1. 実施要綱の通りである。

5. 順位

1. 総合得点の高い者を上位とし、同点の場合には次の順位で決定する。
 - (1) 運転競技の得点が高い者
 - (2) 点検競技の得点が高い者
 - (3) 学科競技の得点が高い者
 - (4) 年齢の高い者 ※同年齢の場合は誕生日で決定する。

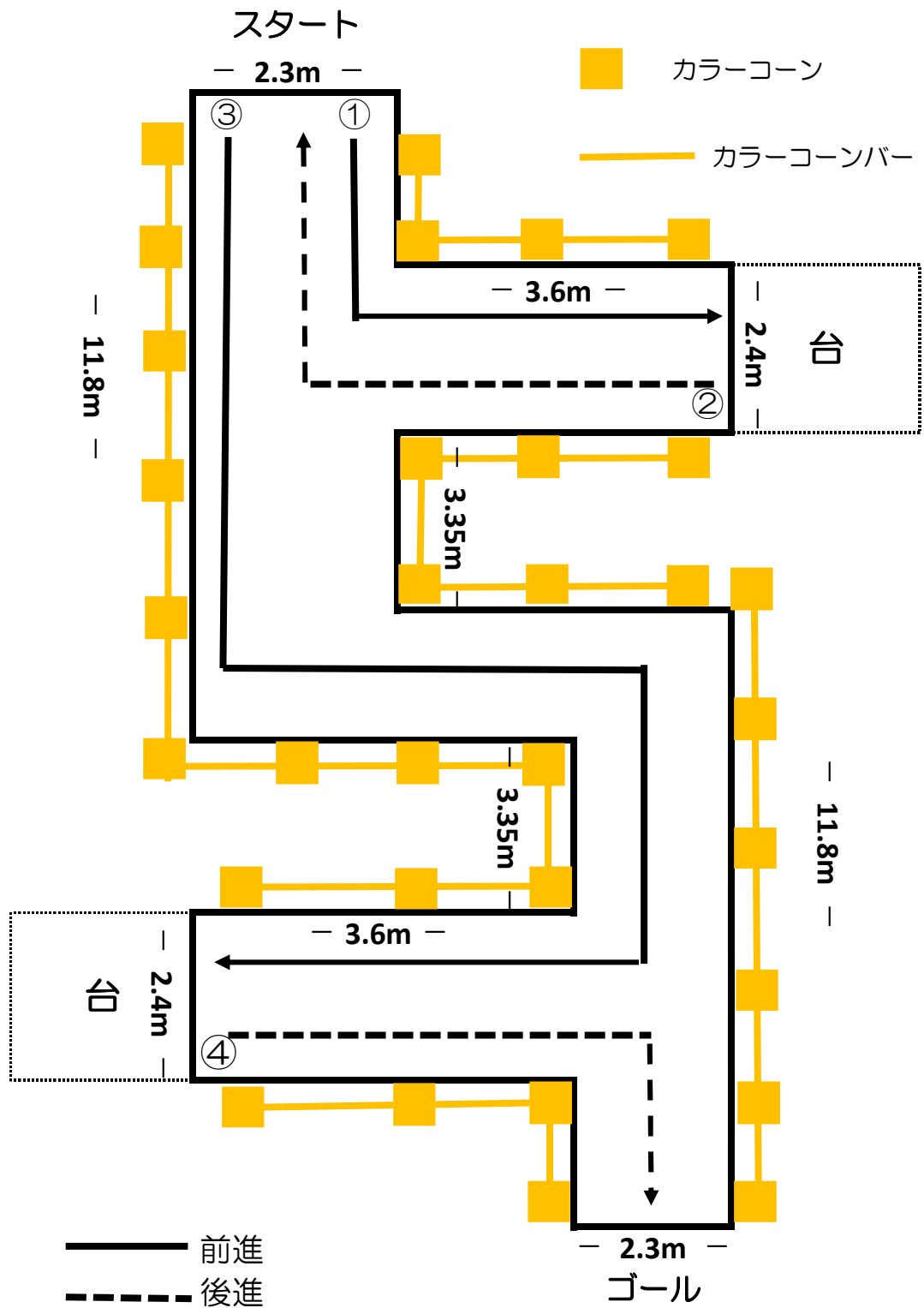
6. 持参品

1. フォークリフト運転技能講習修了証
2. 筆記用具
3. 安全帽
4. 安全靴
5. 作業服
6. 点検ハンマー
7. 雨天時は雨具（雨天決行）

7. 注意事項

1. 集合時間を厳守し、受付をする。
2. 選手は競技開始より終了までゼッケンを着用すること。
3. 競技順は当日大会当日に公表する。
4. 選手は係員の指示に従うこと。
5. 吸い殻入れのないところでの喫煙はしないこと。
6. 駐車場以外への自家用車等の駐車はしないこと。
7. 競技開始後は携帯電話等の使用はしないこと。
8. 不正行為等があった場合は失格とする。

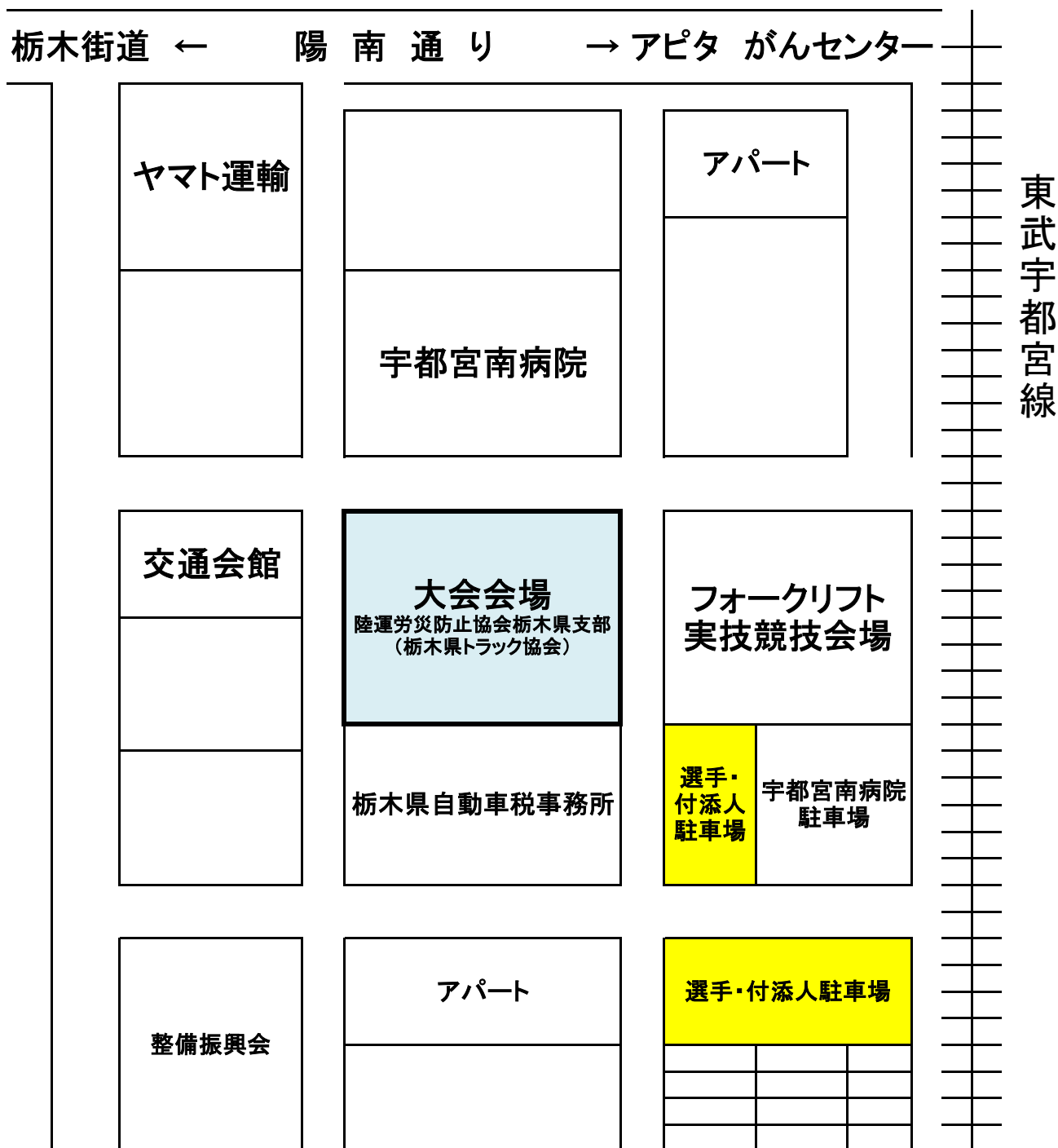
フォークリフト運転競技大会 運転競技コース案内図



運 転 操 作 手 順

| 荷の積み取り作業 | 取りおろし作業 |
|--|--|
| <p>(1) 発 進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フォークを上げ 2. チルト後傾 3. ギヤーを前進に入れる 4. サイドブレーキを解く 5. 安全確認 6. 発 進 <p>(2) 積み取り</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 荷の直前に正面にして一旦停止 2. サイドブレーキを引く 3. ギヤーをニュートラルにする 4. チルト前傾(フォークを水平にする) 5. リフト上げ(差込み位置にする) 6. ギヤーを前進に入れる 7. サイドブレーキを引く 8. 静かに前進しフォーク差込 9. サイドブレーキを解く 10. ギヤーをニュートラルにする 11. リフト上げ(5~10 cm) 12. ギヤーを後進に入れる 13. サイドブレーキを解く 14. 後方確認 15. フォークが荷の山からはずれるまで後進 16. 一旦停止 17. サイドブレーキを引く 18. ギヤーをニュートラルにする 19. フォークを地上 15~20 cmまで下げる 20. チルト後傾 21. ギヤーを後進に入れる 22. サイドブレーキを解く 23. 後方確認 24. 発 進(コースまで戻る) 25. 一旦停止 26. ギヤーを前進に入れる 27. 発 進 | <p>(1) 取りおろし</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 荷を置く位置の直前に正面にして一旦停止 2. サイドブレーキを引く 3. ギヤーをニュートラルにする 4. チルト前傾(フォークを水平にする) 5. フォークを上げる(荷を置く位置より少し上) 6. ギヤーを前進に入れる 7. サイドブレーキを解く 8. 前進(置く位置を合わせる) 9. サイドブレーキを引く 10. ギヤーをニュートラルにする 11. フォークを静かに下げて荷を置く 12. ギヤーを後進に入れる 13. サイドブレーキを解く 14. 後方確認 15. フォークが抜けるまで後進 16. 一旦停止 17. サイドブレーキを引く 18. ギヤーニュートラルにする 19. フォークを地上 15~20 cmまで下げる 20. チルト後傾 21. ギヤーを後進に入れる 22. サイドブレーキを解く 23. 後方確認 24. 発 進 <p>(2) 作業後の停止(駐車)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. サイドブレーキを引く 2. ギヤーをニュートラルにする 3. チルト前傾(フォーク先端が地面に密着する角度) 4. フォークを地上に下ろす |

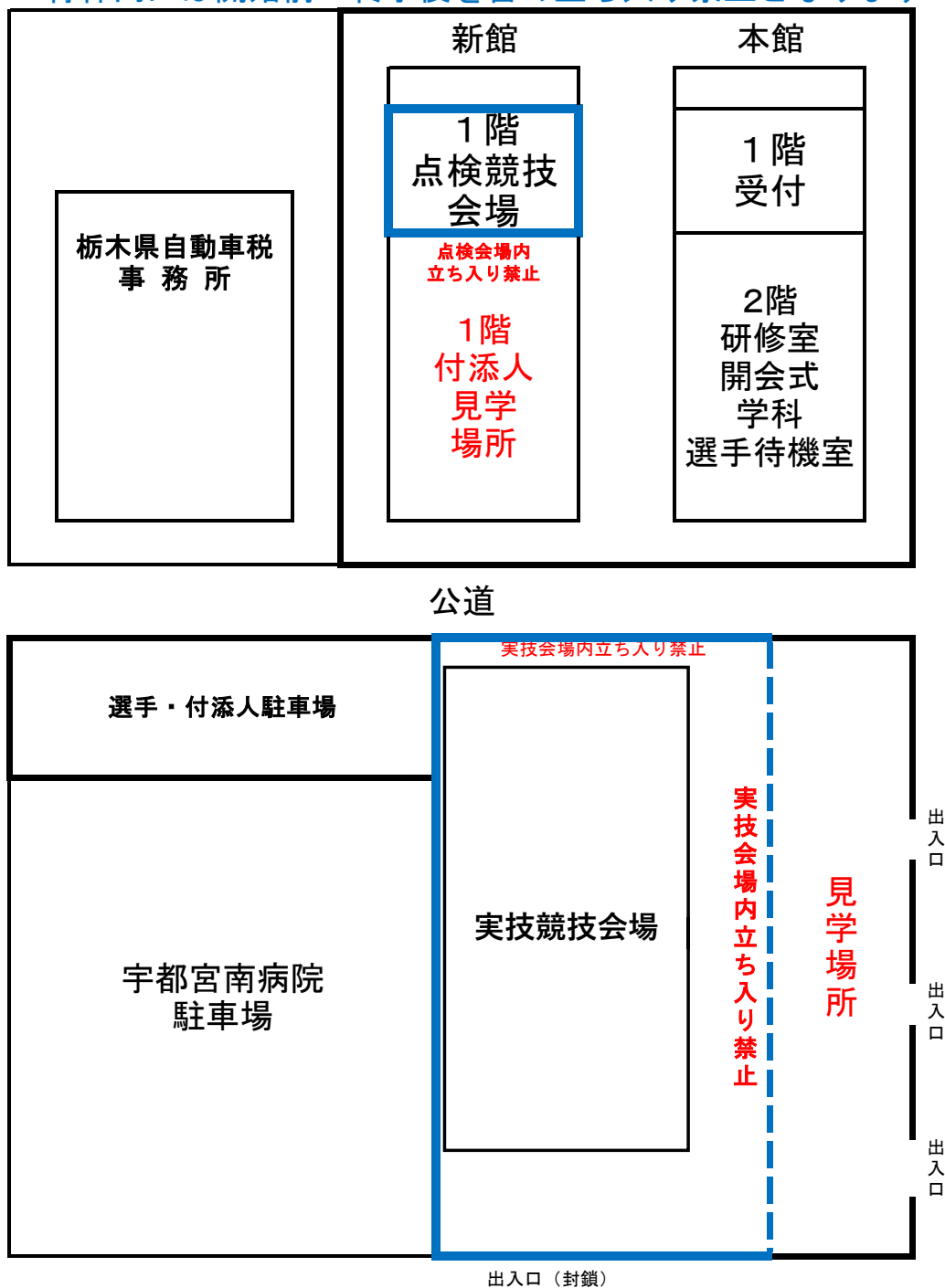
フォークリフト運転競技栃木県大会駐車場案内図



※当日は駐車場整理担当者の指示に従って駐車してください。
 ※指定された駐車場以外の駐車はご遠慮ください。

第31回 フォークリフト運転競技大会 (観戦にあたっての注意事項)

青枠内には開始前・終了後を含め立ち入り禁止となります



※決められた場所以外での観戦はご遠慮ください。

(特に公道での観戦は禁止致します)

※選手への声かけ等を行わないでください。

※付添人は開会式以外は選手待機室への入場は出来ません。

※閉会式後の解散となりますが、出場選手以外の昼食は
ご用意しておりません。

※点検及び実技の会場内への立ち入り及び使用する
フォークリフトに触れることは禁止いたします。

（開始前・終了後においても競技会場内は立ち入り禁止とします）